

カラン・マーク・ギル・プラン研究員（フィリピン）



マブハイ！（フィリピンのこんにちは）私はフィリピン国防市民防衛局（OCD）のマークと申します。私はOCDで民間防衛アシスタントとして働くとともに、OCDの国家災害リスク軽減管理評議会（NDRRMC）の事務局も努めています。OCDはNDRRMCの事務局として、フィリピンの包括的な国家市民防衛と災害リスク軽減及び管理（DRRM）プログラムを推進・管理しており、2020年までにDRRMの中心的役割を担うことを目指しています。

現在、私はブタン市（Butuan）にあるカラガ地域センターに勤務しています。この地域は5つの郡と1中核都市、5つの都市、67自治体と1,310のバランガイという小さな地方自治から構成されています。

2008年以降、私はフィリピン政府でワークショップや会議などを通して防災知識を習得し、防災の啓発活動に取り組んできました。これにより、防災計画、人材育成などを行う民間防衛アシスタントとして任命され、インシデント・コマンド・システム（ICS）などの研修コースにおける実施状況の管理などをおこなっています。OCD提供の様々な防災能力構築活動や研修プログラムの実施にあたり、ローカル防災協議会（LDRRMCs）や地域防災協議会（RDRRMC）の構成者と密接に働いています。また、カラガ地域における防災能力向上活動や研修や防災関連計画策定の技術支援やリソースを提供するも私の業務の一つです。

最後になりますが、日本における防災分野の優良事例や技術を学ぶ機会を与えてくれたADRCと日本政府に心から感謝します。私の研究活動が、ADRCやフィリピンOCDへの貢献として、少しでも役立ち、フィリピンの持続可能な開発の促進に向けて、有益な一歩となることを願います。